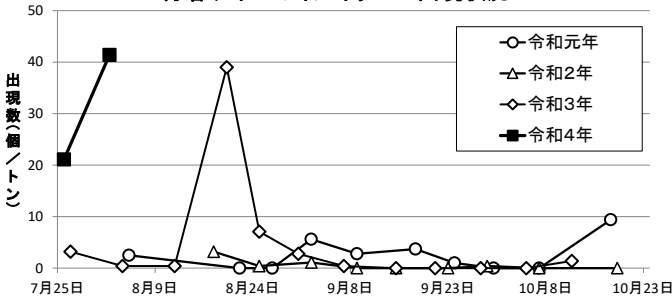


◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

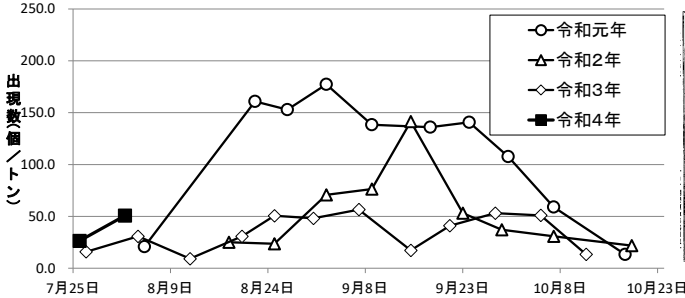
サロマ湖 4 地点で付着生物のラーバ調査を行った結果、イガイ（シュウリガイ）ラーバは 4 地点平均で 205 個/トン出現しており、そのうち付着サイズのラーバは 41 個/トンみられ、大幅に増加していました。

ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは 51 個/トン出現しており、前回よりもやや増加していました。

付着サイズのイガイラーバ出現状況



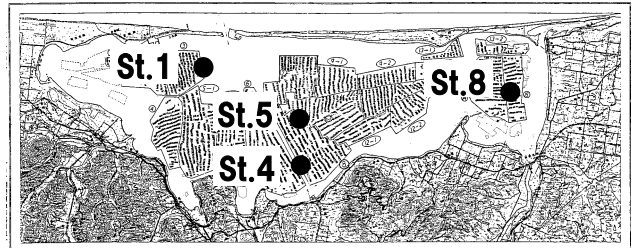
ホヤ類の出現状況



イガイラーバの出現状況

	St. 1	St. 4	St. 5	St. 8	平均
140 ~ 150	4.4	4.1	18.0	163.2	47.4
150 ~ 160	1.1	2.7	14.4	76.2	23.6
160 ~ 170	2.2	5.4	10.8	32.6	12.8
170 ~ 180	0.0	1.4	7.2	21.8	7.6
180 ~ 190	3.3	2.7	21.6	21.8	12.4
190 ~ 200	0.0	1.4	14.4	10.9	6.7
200 ~ 210	2.2	5.4	7.2	21.8	9.2
210 ~ 220	2.2	4.1	7.2	10.9	6.1
220 ~ 230	3.3	6.8	0.0	21.8	8.0
230 ~ 240	2.2	2.7	25.2	32.6	15.7
240 ~ 250	1.1	1.4	3.6	21.8	7.0
250 ~ 260	4.4	5.4	7.2	10.9	7.0
260 ~ 270	4.4	8.2	0.0	10.9	5.9
270 ~ 280	5.5	0.0	7.2	10.9	5.9
280 ~ 290	4.4	5.4	3.6	10.9	6.1
290 ~ 300	6.6	8.2	25.2	54.4	23.6
合計	47.2	65.3	173.0	533.2	204.7
200 μm以上	36.2 76.7%	47.6 72.9%	86.5 50.0%	206.8 38.8%	94.3 46.1%
260 μm以上	20.8 44.2%	21.8 33.3%	36.0 20.8%	87.1 16.3%	41.4 20.2%
ホヤ類	35.1	89.8	55.0	23.1	50.8

付着物ラーバ関連調査地点図



◎サロマ湖水質状況

8月2日湖内中央部ブイ5の溶存酸素 (mg/L)、水温(°C)、塩分(‰)を測定しました。

その結果、結果、水温は全層で 20°C以下でした。溶存酸素は底から 16m まで 5 mg/L を下回っていました。

塩分は全層で 33 以上でした。

溶存酸素(mg/l)・水温(°C)・塩分(‰)

